

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あまはれ		
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日 ～ 7年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日 ～ 7年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感、満足、適切な支援の提供において、皆様「はい」をいただけたことが何よりです。	子どもの姿に寄り添い、「気づき」を大切にしている姿勢が、誠実な事業運営につながっています。子どもの成長発達とワークを共に考え一緒に楽しむことで、子どもの笑顔と保護者からの厚い信頼につながっています。	上から目線のペアレントトレーニングではなく、親子支援の視点を今後も大切に、伴走者として誠実に寄り添ってまいります。そのためにも、職員一同の意識向上、研鑽を怠らないよう研修や意見交換の場も設け、質の高い職員体制を整えます。さらに、地域や保護者との交流の場も設け、身近なソーシャルアクションを行います。
2			非常時等の対応は、子どもの状況を確認し、定期的にアップデートしながら保護者、関係機関とも共有いたします。災害発生を想定した訓練の実施、備蓄など安全管理を徹底します。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムやきょうだいへの支援について	保護者支援やきょうだいに関して当たり前のこととして運営しています。個別では適宜対応し、関係機関連携も行っています。集団での研修会・情報提供の機会・保護者会などが不十分であると考えます。	一方的な支援ではなく伴奏者としての支援を、保護者やきょうだいのニーズに寄り添い「共に」検討して参ります。家族支援の視点をより一層強固なものとし、集団での会を検討していきます。
2	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定の義務化に伴い策定しています。	避難訓練においても、地震・火災・不審者など種類ごとに行い、常に改善策が必要であると考えています。	防災意識を常に持ち、危機管理マニュアルに沿って引き続き整備に努めます。そして、災害時の二次被害を妨げるよう避難所として機能し、福祉支援が行える事業所を目指します。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あまはれ

公表日 R8 年 2 月 13 日

利用児童数 R8 年 2 月 13 日 回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	75%			25%		基準となるスペースを確保し、けがや事故が起こらないように机や棚の配置に気をつけています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	63			37		現在の配置数を確保しながら、さらに職員を増やしていけるように努力します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	75			25		全体での活動と個々の課題に取り組む時の切り替えがしやすいように、机の配置などを工夫しています。保護者には契約時に説明しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	75			25		生活空間（活動場所、トイレ、手洗い場等）は、清潔に保つために毎日掃除し、必要に応じて消毒もしています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100				苦手なことも丁寧に見てくださっています。	子どもの言葉や行動の意味を考え、一人一人に寄り添うことを心がけています。課題が見つかった時には、全職員で共通理解し、支援の方向や方法を話し合うようにしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	75			25		子ども達が意欲をもって取り組めるようなプログラムを考えて、支援を行うようにします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100				しっかりとモニタリングをされ、作成されている。	作成時には、保護者としてしっかり話し合いをして合意するように心がけています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100					子どもの実態をしっかりと把握するなかで、スモールステップの目標を設定し、達成するための具体的な支援を行います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100					個々の目標を意識しながら、活動時には支援するようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88			12		継続していくプログラムは大切にしながらも、新しいプログラムも取り入れるようにしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	100				地域交流をされていると思います。	現在は事業所で一緒に過ごす友だちとの活動が主になっていますが、今後は交流の場を作っていけるようにしていきたいと考えています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100				見学時、契約時にしっかりと説明を受けました。分かりやすくしてくださいました。	契約時に、丁寧な説明をするように努めます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100				一つ一つ説明して頂きました。	事前に「支援計画（案）」を作成し、提示しながら説明を行うようにしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	63			37		保護者が悩んでいることや困っていること等の内容を共有し、意見交換をするように心がけています。研修会や情報提供については、今後の課題として取り組んでいきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100				送迎時やその都度ご連絡くださいます。	子ども達のことでも気になることがあれば、送迎時や電話等で伝えるようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100					年2回、支援計画の作成時に、必ず面談を行っています。それ以外にも何かあればすぐに支援するように心がけています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100				子どもだけでなく親への共感もよくされ、助けられています。調子がのらない時も、優しく接して頂いています。	保護者との信頼関係を築き、同じ方向を向いて支援していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	50	12		38		今後、保護者のニーズについて全職員で話し合い、保護者同士の交流の機会や兄弟同士の交流の機会等について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100				小さな悩みでもきちんと相談のつてくださいます。	相談内容を全職員で共通理解し、事業所内だけでなく、より有効的な相談機関がある場合は紹介できるように研修していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100					子ども達とは活動を通して気持ちのやりとりができるように心がけ、保護者とは会話を大切にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	75			25		毎月、通信と行事予定を発行していますが、今後いろいろな情報等を、より詳細に発信していけるように努力します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100					個人の情報に関する書類等は、鍵のかかるロッカーに保存しています。書類以外でも個人に関することについては、細心の注意をしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75			25	不審者対応訓練をされているので。とてもありがたいです。	それぞれのマニュアルは策定しています。定期的に訓練（防災、不審者対応等）を行い、その様子は保護者に伝えるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63			37		子ども達が小さいため、本格的な訓練はできていませんが、安全に気をつけてできる範囲で行っています。職員の役割分担などのマニュアル作りはできています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75			25		安全面については細心の注意をしていますが、けがや事故につながりそうな事案があった場合は、必ず全職員に報告して対応を考えています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	63			37		軽いけが（すり傷等）であっても、保護者には必ずその時の状況や対応を説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100				お迎えに来てもらうと、先生と手をつないぎ笑顔で行けるようになってきました。	子ども達にとって「あまはれ」が安心して過ごせる場所になるよう、信頼関係を築いていけるように努力します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100				親としてすごく成長を感じられている。帰ってくると、今日したことを嬉しそうに話したり見せたりしてくれます。とても楽しみにしています。	子ども達が楽しく通所できるように、活動内容を検討し充実させていきます。また、一人一人の気持ちに寄り添うことを大切にします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100				大変満足しています。	保護者の皆様に満足していただけるように、全職員で頑張っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あまはれ		R8 年 2 月 13 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		やや狭いが、パーティションを利用したり備品の置き場所を工夫しています。	限られたスペースを有効活用できるように、備品を整理したり必要に応じて片付けたりして、空間を確保するようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100		通所する子ども達の人数や特性に応じて、職員の配置を考えています。	現在の配置数を確保しながら、さらに職員を増やしていくように努力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83	17	生活空間は、段差をなくしてバリアフリーにしています。子ども達に必要な情報は、カード（絵、文字）を使って視覚化しています。	その日の活動予定の見通しがしっかりもてるように、個々の実態に応じて、活動予定の可視化（絵カード、タイムスケジュール等）を進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100		活動場所、トイレ、手洗い場などは毎日清掃して、清潔な環境にするように心がけています。	毎日の清掃で清潔にしています。自由に過ごす場所と課題に取り組む場所の空間を、わかりやすく子ども達に提示します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83	17	静かに過ごしたい等、一人になれる場所を用意して活用しています。	一人で過ごすことを認めつつ、職員が関わりたり友だちと一緒に過ごす機会を作ったりしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100		課題が見つかった時には、当日あるいは翌日に全職員に報告し、共通理解をするようにしています。	全職員が揃わないこともあるので、確実に伝達できるように徹底します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83	17	保護者アンケートの評価結果に基づいて、全職員で検討する機会を設けています。	改善する内容については、毎日の子ども達の支援に生かしていきます。定例の職員会議で、定期的にできているかを確認していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		毎週月曜日に職員会をして、意見交換をしています。すぐに改善できることについては、早い対応を目指しています。	職員会に参加できない場合は、必ず会議録に目を通すようにしていますが、さらに徹底するようにします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33	67	他の事業所の意見を聞いたアドバイスをしてもらったりして、業務改善に役立てています。	第三者による外部評価は、まだ行っていないです。今後実施できるようにしていきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100		いろいろな所で行われている研修会に、職員が参加しています。そこで研修したことについては、職員会などで伝達しています。	法令、日々の支援に関すること、子どもの発達についてなど、幅広く研修していきたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100		運動、体操、製作、調理、音楽など、いろいろなプログラムを考えて取り入れるようにしています。保護者には、毎月の行事予定表でお知らせしています。	プログラムの内容が、偏ったり同じものばかりにならないようにしていきます。新しい活動を取り入れるようにします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100		個々の子どもに対してアセスメントを行っています。子どもと保護者に聞き取りをした後、全職員で一人一人について検討しています。	日々の支援のなかで課題となることなどを話し合い、できる限り客観的に分析できるようにします。今までの支援計画についても、見直しをします。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100		作成時には、子どもの支援に関わる全職員で検討することで支援内容を共有し、子どもにとって成長につながる支援計画になるようにしています。	子どもの担当を決めずに、全職員で関わるようにしていますが、関わりが多かったり少なかったりと言う場合もあります。子どものことをこまめに報告し合いながら、関わりを深めるように努力します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100		作成時には、子どもの支援に関わる全職員で検討することで、同じように支援ができるようにしています。	日々過ごすなかで、子どもの実態にそぐわないケースが出てくる場合があります。その時は、全職員で検討し直して、保護者と話し合うようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100		前日の子ども達の様子で気になった行動等があれば、次の日に必ず報告し合うようにしています。	子ども達の行動については、支援のなかでできるだけ把握するように努めています。翌日に報告し合って、その後の支援に役立てるようにします。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100		「本人支援」や「家族支援」等のねらいを踏まえながら、ガイドラインに沿って作成しています。支援内容については、できるだけ具体的にするようにしています。	ねらいを実現させるために、事業所だけでは支援を具体的にすることが難しい場合があります。どのように支援できるのかについて、研修をしていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		それぞれの係や、個人で今までにない活動を見つけた職員が提案し、全体で検討しています。	係だけでは限りがあるので、全職員でいろいろなことにアンテナを張って、新しく取り入れられるプログラムを見つけるようにします。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		継続するプログラムに新しいプログラムを取り入れることで、固定化にならないようにしています。	子どもの興味・関心に関心が大きいので、プログラムの組み方が難しいところがあります。みんなが楽しめるプログラムを考えていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100		集団活動（友だちと一緒に集団で活動する時間）と、個別活動（個々の課題に取り組む時間）を組み合わせるようにしています。	個別の課題の後で集団活動を取り入れていますが、通所する時間がまちまちのため難しいところがあります。今後、時間配分をどうするかを考えていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100		その日に通所するメンバーの確認をしてから、打ち合わせを行っています。	マンツーマンではない時には、支援が難しい場合があります。複数の支援が必要な時には、子どもの組み合わせなどを考える等の工夫をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100		気になったことや気をつけなければならないことについては、できるだけその日のうちに報告しています。	帰宅時に問題が起こった場合は、その日のうちに職員のグループラインで報告して共有して、次の日に話し合う用になります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100		毎日、活動記録をつけています。	定期的に検証したり、同じような活動をする時には前回の活動記録を参考にしたりして、生かしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100		年2回のモニタリングを実施して、見直すようにしています。	支援計画のねらいを変更していく必要が生じた時は、定期的なモニタリング（年2回）に限らず、見直していくようにします。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100		サービス担当者会には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	会議の内容が、事業所の考える思いや大切にしたいこと等と認識の違いがある場合は、今後どのようにしていくかを検討していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100		連携ができる機関については、確認しています。	現在、連携につながったケースはありませんが、今後スムーズに連携できるように体制を整えます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100		保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校等の担任や関係機関と話ができる機会があれば、するようにしています。	送迎時に担と出会えないことも多いので、気になることがあれば電話などで伝えるようにします。子どものケース会議がある場合は、積極的に参加します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100		情報共有が必要な時には、利用時の事について知らせるようにしています。	就学先には、就学先の小学校や特別支援学級（小学部）の担任と連携できるようにします。事業所での様子や個別の支援計画などについても共有します。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	17	83	研修会などに参加して、福祉に関する知識を得るようにしています。	今後も、職員の資質向上のために必要な研修会に積極的に参加していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50	50	地域の公園で、他の子どもと一緒に活動する機会を作っています。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流はまだできていません。今後、どのようにして交流していくかを考えていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		送迎時に子ども達のことを報告し、共通理解を図るようにしています。電話での報告もしますが、大切なことは、直接会って話をさせていただくようにしています。	今後も、保護者と共通理解をしていけるように、伝え合うことを大切にします。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50	50	現在は、兄弟支援のみを行っています。	家族支援プログラムや保護者対象の研修会の機会は設定できていません。今後の課題として取り組んでいきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100		事業所の利用契約をする時に、丁寧に説明するようにしています。	今後も、丁寧な説明に心がけます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100		保護者とのモニタリングを実施して、保護者の意向や子どもの思いが達成できるように支援計画を作成しています。	今後も、子どもや保護者の意向を尊重した支援計画が作成できるように、十分に話し合いの機会の場を設けます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100		保護者とのモニタリングを実施した後、「支援計画（案）」を作成します。それを見せながら保護者には説明して同意を得ています。	事業所が作成した「支援計画（案）」を基に、保護者と話し合いをし、訂正したり付け足したりして立案します。最終的にできあがったものを、保護者に確認して頂いて同意を得るようにします。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100		子育てについての悩み相談を受けた時は、電話だけでなく、事業所に来ていただいたり自宅に出向いたりしています。	できる限り直接会って、面談をするようにします。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100	現在は、兄弟支援のみを行っています。	保護者のニーズが様々なため、保護者が交流する機会や保護者会の機会を設定するまでには至っていません。保護者のニーズをしっかりと把握して、今後を実施できるように努力します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100		子どもや保護者から相談があった時は、しっかりと聞き取りをした後で、職員全員で解決できるように話し合いをして、報告しています。	相談内容の原因や要因をしっかりと把握して、試行錯誤しながら、適切に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100		毎月、通信と行事予定を配布しています。	今後、HPの活用をしていきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100		個人情報については、事務所の鍵がかかるロッカーに保管しています。また、個人情報に関する書類は、事業所から持ち出さないようにしています。	今後も、個人情報の取り扱いについては、十分に注意します。事業所以外への書類の持ち出し、個人情報の外部への口外禁止を徹底します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		子ども達には、情報を文字や写真や絵カード等を使って提示しています。	子ども達には、一人一人に合った方法で意思が伝達できるように、情報を可視化していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100		放課後等児童サービスでは、ハロウィン等の行事において、地域との交流を行っています。	子ども達がまだ小さいため、事業所内で集団活動をしたりの個別の課題に取り組むことが中心となっています。今後、地域への発信ができるように努力します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100		それぞれのマニュアルを作成しています。事前に職員で研修した後、定期的に訓練を実施しています。また映像等を使って学習をしています。	保護者には、訓練の様子などを口頭やその日の活動記録で伝えるようにしています。また、通信でも取り組みなどについて知らせています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100		業務継続計画（BCP）は策定しています。非常災害の発生を想定した訓練を、毎年行っています。	訓練については、いろいろなケースが考えられるので、同じ訓練だけでなく、パターンを変えて取り組んでいきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	83	17	契約時の面談などで、保護者に確認しています。	てんかん発作が起きた時の対応や、職員の役割分担を、定期的に確認しています。また、保護者にも定期的に確認するようにします。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100		契約時の面談などで、保護者に確認しています。また意思からの指示書がある場合は、そのことについても詳しく聞き取るようにしています。	食物アレルギーが起きた時の対応や、職員の役割分担を、定期的に確認しています。また、保護者にも定期的に確認するようにします。調理活動の時には、細心の注意をします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100		安全計画を作成しています。職員は安全管理について研修をしています。	安全管理が不十分だと思われた時は、もう一度見直しをして、安全に活動できるようにします。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100		活動時や送迎時に気になることがあれば、保護者に報告します。家庭での様子も聞きながら、対応を検討します。	安全面で問題や課題がある場合は、保護者に連絡して連携しながら対応と一緒に考えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100		ヒヤリハットが起こった時は、職員全体に報告し検討します。記録に残して同じことが起こらないようにします。	以前にヒヤリハットがあった活動や、安全面に気をつける必要のある活動の前には、必ず打ち合わせをして確認するようにします。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		虐待に当たる言葉や行為について研修を行い、子ども達への接し方や声かけについて、共通理解をしています。	職員の声かけ（言葉）や行動で気になることがあれば、職員同士で指摘し合うようにします。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100		身体拘束についての研修を行い、身体拘束をしなければならない場面について話し合い、必要がある場合は保護者に確認して了解を得るようにします。	現在、対象の子どもはいませんが、どのような時にどのような対応をするかを想定し、身体拘束に値するか等を考えていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あまはれ		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日 ～ R7年12月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R7年12月1日 ～ R7年12月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	29
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感、満足、適切な支援の提供において、皆様「はい」をいただけたことが何よりです。	子どもの姿に寄り添い、「気づき」を大切にしている姿勢が、誠実な事業運営につながっています。子どもの成長発達とワークを共に考え一緒に楽しむことで、子どもの笑顔と保護者からの厚い信頼につながっています。	上から目線のペアレントトレーニングではなく、親子支援の視点を今後も大切に、伴走者として誠実に寄り添ってまいります。そのためにも、職員一同の意識向上、研鑽を怠らないよう研修や意見交換の場も設け、質の高い職員体制を整えます。さらに、地域や保護者との交流の場も設け、身近なソーシャルアクションを行います。
2			非常時等の対応は、子どもの状況を確認し、定期的にアップデートしながら保護者、関係機関とも共有いたします。災害発生を想定した訓練の実施、備蓄など安全管理を徹底します。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムやきょうだいへの支援について	保護者支援やきょうだいに関して当たり前のこととして運営しています。個別では適宜対応し、関係機関連携も行っています。集団での研修会・情報提供の機会・保護者会などが不十分であると考えます。	一方的な支援ではなく伴奏者としての支援を、保護者やきょうだいのニーズに寄り添い「共に」検討して参ります。家族支援の視点をより一層強固なものとし、集団での会を検討していきます。
2	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定の義務化に伴い策定しています。	避難訓練においても、地震・火災・不審者など種類ごとに行い、常に改善策が必要であると考えています。	防災意識を常に持ち、危機管理マニュアルに沿って引き続き整備に努めます。そして、災害時の二次被害を妨げるよう避難所として機能し、福祉支援が行える事業所を目指します。
3	子どもの活動スペースや構造化された空間については課題があると思います。	ワンフロアならではの、長所短所があります。必要面積や人員配置はクリアしていますが、より心地よく過ごせるよう改善点を探ります。	新しい事業所を増やし、利用者様に喜んでいただけるよう努めてまいります。既存建物についても、限られたスペースを有効活用し、清潔、整理整頓を今以上に心がけます。また、活動予定等の見通しが持てるよう可視化したり、空間の構造化など常に探求し取り組みます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
あまはれ		R8年2月13日						
		利用児童数				30	回収数	29
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87%	10%		3%	戸外の活動が多いので良いと思う。 長時間過ごすには十分ではないかもしれませんが、外での活動も多いので、しっかり活動できていると思います。	少し狭いが、活動内容や机などの配置を考えることで、有効活用できるように工夫しています。また、事業所外での活動を取り入れることで、活動量を確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	97			3		現在の配置数を確保しながら、さらに職員を増やしていけるように努力します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90	3		7		全体での活動と個々の課題に取り組む時の切りかえがしやすいように、机の配置などを工夫しています。保護者には契約時に説明しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94	6			見ることがないのでわかりません。	生活空間（活動場所、トイレ、手洗い場等）は、清潔に保つために毎日掃除し、必要に応じて消毒もしています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100				子どもの特性を理解したうえで丁寧に関わっていただいています。	子どもの言葉や行動の意味を考え、一人一人に寄り添うことを心がけています。課題が見つかった時には全職員で共通理解し、支援の方向や方法を話し合うようにしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97			3		子ども達が意欲をもって取り組めるようなプログラムを考えて、支援を行うようにします。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100				毎回きちんと話を聞いてもらって、個別計画を作っていただいています。しっかりとモニタリングをされ、支援計画を作成されている。	作成時には、保護者と一緒に話し合いをして合意するように心がけています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97			3		子どもの実態をしっかりと把握するなかで、スモールステップの目標を設定し、達成するための具体的な支援を行います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100					個々の目標を意識しながら、活動時には支援するようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94	3		3	子どもが楽しみにしており、活動内容も充実していると思います。	継続していくプログラムは大切にしながらも、新しいプログラムも取り入れるようにしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	59	3	3	35	地域交流や大学、専門学校への参加があった。	地域活動（体操等）への参加や児童館の利用による交流を行っていますが、今後、交流の場を広げていけるように考えていきます。
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100				事前に説明があり、こちらの質問にも丁寧に答えてくださいました。	契約時に、丁寧な説明をするように努めます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100					事前に「支援計画（案）」を作成し、提示しながら説明を行うようにしています。合意後には全職員で検討し、それを反映した支援計画を完成させてお渡します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	24	10	24	まだ利用して日が浅いのでわかりません。	保護者が悩んでいることや困っていること等の内容を共有し、意見交換をするように心がけています。研修会や情報提供については、今後の課題として取り組んでいきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100				家庭では気づきにくい面についても共有していただけるため、とても助かっています。送迎時やその都度ご連絡くださいます。	子ども達のことと気になることがあれば、送迎時や電話等で伝えるようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	97	3			送迎時に、利用している時の事を丁寧に教えていただけるので助かります。また、相談にものってもらえているので心強いです。	年2回、支援計画の作成時に、必ず面談を行っています。それ以外にも何かあればすぐに支援するように心がけています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100				親子共々話をよく聞いてくださり、共感や実践をしてくださいます。	保護者との信頼関係を築き、同じ方向を向いて支援していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	14	24	55	まだ父母の会に参加したり活動内容を知ったりできていないので「わからない」にしました。保護者の人も忙しいと思うので、今の感じで特に問題ないです。	今後、保護者のニーズについて全職員で話し合い、保護者同士の交流の機会や兄弟同士の交流の機会等について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94	3		3	必要な際には相談しやすい雰囲気があり、保護者への配慮も行き届いていると感じています。	相談内容を職員で共通理解し、事業所内だけでなく、より有効的な相談機関がある場合は紹介できるように研修していきます。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100					子ども達とは活動を通して気持ちのやりとりができるように心がけ、保護者とは会話を大切にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	94			6	日々のおたより、あまはれ通信を楽しみにしています。	毎月、通信と行事予定を発行していますが、今後いろいろな情報等を、より詳細に発信していけるように努力します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	97			3		個人の情報に関する書類等は、鍵のかかるロッカーに保存しています。書類以外でも個人に関することについては、細心の注意をしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87	3	3	7	学校以上に個別かつ丁寧に行ってくださいます。	それぞれのマニュアルは策定しています。定期的に訓練（防災、不審者対応等）を行い、その様子は保護者に伝えるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	73		6	21		火災・台風や水害などの非常災害や、不審者対応等の訓練を定期的に実施しています。また、映像等を用いての学習も行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87			13		安全面については細心の注意をしていますが、けがや事故につながりそうな事案があった場合は、必ず全職員に報告して対応を考えています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	87			13	事故や大きなけがをしていないのでわからない。	軽いけが（すり傷等）であっても、保護者には必ずその時の状況や対応を説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97	3			子どもが安心して通所でできおり、通うことを前向きに捉えられていると感じます。いつも大変お世話になっております。子どもも毎回家しみにしており、安心して通わせることができています。	子ども達にとって「あまはれ」が安心して過ごせる場所になるよう、信頼関係を築いていけるように努力します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	97		3		通所を楽しみにしており、良い経験の場になっていると感じています。毎回の利用をとても楽しみにしています。発語はないのですが、毎回家しそに通っています。毎回とても喜んで通所しています。とても楽しみにしています。	子ども達が楽しく通所できるように、活動内容を検討し充実させていきます。また、一人一人の気持ちに寄り添うことを大切にします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100				いつも温かく見守っていただき、安心して通わせていただいています。子どもにとっても親にとっても、非常にありがたい存在です。急な利用のお願いや個別の配慮などについても、いつも丁寧かつ親身になって対応くださいます。スタッフの皆様、丁寧な対応に感謝しています。様々な体験が出来、とてもありがたく思っています。大変満足しています。	保護者の皆様に満足していただけるように、全職員で頑張っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あまはれ		公表日		
				R8 年 2月 13日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		やや狭いが、パーティションを利用したり備品の置き場所を工夫しています。	限られたスペースを有効活用できるように、備品を整理したり必要に応じて片付けたりして、空間を確保するようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100		通所する子ども達の人数や特性に応じて、職員の配置を考えています。	現在の配置数を確保しながら、さらに職員を増やしていくように努力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83	17	生活空間は、段差をなくしてバリアフリーにしています。子ども達に必要な情報は、カード（絵、文字）を使って視覚化しています。	その日の活動予定の見通しがしっかりもてるように、個々の実態に応じて、活動予定の可視化（絵カード、タイムスケジュール等）を進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100		活動場所、トイレ、手洗い場などは毎日清掃して、清潔な環境にするように心がけています。	毎日の清掃で清潔にしています。自由に過ごす場所と課題に取り組む場所の空間を、わかりやすく子ども達に提示します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83	17	静かに過ごしたい等、一人になれる場所を用意して活用しています。	一人で過ごすことを認めつつ、職員が関わったり友だちと一緒に過ごす機会を作ったりしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100		課題が見つかった時には、当日あるいは翌日に全職員に報告し、共通理解をするようにしています。	全職員が揃わないこともあるので、確実に伝達できるように徹底します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83	17	保護者アンケートの評価結果に基づいて、全職員で検討する機会を設けています。	改善する内容については、毎日の子ども達の支援に生かしていきます。定例の職員会議で、定期的にできているかを確認していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		毎週月曜日に職員会をして、意見交換をしています。すぐに改善できることについては、早い対応を目指しています。	職員会に参加できない場合は、必ず会議録に目を通すようにしていますが、さらに徹底するようにします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33	67	他の事業所の意見を聞いたアドバイスしてもらったりして、業務改善に役立っています。	第三者による外部評価は、まだ行っていません。今後実施できるようにしていきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100		いろいろな所で行われている研修会に、職員が参加しています。そこで研修したことについては、職員会などで伝達しています。	法令、日々の支援に関すること、子どもの発達についてなど、幅広く研修していきたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100		運動、体操、製作、調理、音楽など、いろいろなプログラムを考えて取り入れるようにしています。保護者には、毎月の行事予定表でお知らせしています。	プログラムの内容が、偏ったり同じものばかりにならないようにしていきます。新しい活動を取り入れるようにします。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100		個々の子どもに対してアセスメントを行っています。子どもと保護者に聞き取りをした後、全職員で一人一人について検討しています。	日々の支援のなかで課題となることなどを話し合い、できる限り客観的に分析できるようにします。今までの支援計画についても、見直しをします。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100		作成時には、子どもの支援に関わる全職員で検討することで支援内容を共有し、子どもにとって成長につながる支援計画になるようにしています。	子どもの担当を決めずに、全職員で関わるようにしていますが、関わりが多かったり少なかったりと言う場合もあります。子どものことをこまめに報告し合いながら、関わりを深めるように努力します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100		作成時には、子どもの支援に関わる全職員で検討することで支援内容を共有するようにしています。全員で検討することで、同じように支援ができるようにしています。	日々過ごすなかで、子どもの実態にそぐわないケースが出てくる場合があります。その時は、全職員で検討し直して、保護者と話し合うようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100		前日の子ども達の様子で気になった行動等があれば、次の日に必ず報告し合うようにしています。	子ども達の行動については、支援のなかでできるだけ把握するように努めています。翌日に報告し合って、その後の支援に役立てるようにします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100		「本人支援」や「家族支援」等のねらいを踏まえながら、ガイドラインに沿って作成しています。支援内容については、できるだけ具体的にするようにしています。	ねらいを実現させるために、事業所だけでは支援を具体的にすることが難しい場合があります。どのように支援できるのかについて、研修をしていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		それぞれの係や、個人で今までにない活動を見つけた職員が提案し、全体で検討しています。	係だけでは限りがあるので、全職員でいろいろなことにアンテナを張って、新しく取り入れられるプログラムを見つけるようにします。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		継続するプログラムに新しいプログラムを取り入れることで、固定化にならないようにしています。	子どもの興味・関心に関心が大きいため、プログラムの組み方が難しいところがあります。みんなが楽しめるプログラムを考えていきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100		集団活動（友だちと一緒に集団で活動する時間）と、個別活動（個々の課題に取り組む時間）を組み合わせるようにしています。	個別の課題の後で集団活動を取り入れていますが、通所する時間がまちまちのため難しいところがあります。今後、時間配分をどうするかを考えていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100		その日に通所するメンバーの確認をしてから、打ち合わせを行っています。	マンツーマンではない時には、支援が難しい場合があります。複数の支援が必要な時には、子どもの組み合わせなどを考える等の工夫をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100		気になったことや気をつけなければならないことについては、できるだけその日のうちに報告しています。	帰宅時に問題が起こった場合は、その日のうちに職員のグループラインで報告して共有して、次の日に話し合う用になります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100		毎日、活動記録をつけています。	定期的に検証したり、同じような活動をする時には前回の活動記録を参考にしたりして、生かしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100		年2回のモニタリングを実施して、見直すようにしています。	支援計画のねらいを変更していく必要が生じた時は、定期的なモニタリング（年2回）に限らず、見直しを行うようにします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100		施設内の目に付く所に掲示して、常に意識できるようにしています。	支援計画を作成する時に、「4つの基本活動」が組み込まれているかを確認していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100		いろいろな活動のなかで、自分で決めたり選択したりする場面を設定し、子ども達の気持ちを尊重する支援を心がけています。	集団活動の場面でも、自己選択ができるように、いくつかの選択肢を用意するようにします。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100		サービス担当者会には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	会議の内容が、事業所の考える思いや大切にしたいこと等と認識の違いがある場合は、今後どのようにしていくかを検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100		連携ができる機関については、確認しています。	現在、連携につながったケースはありませんが、今後スムーズに連携できるように体制を整えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100		契約時、学校には挨拶に行き、事業所利用を伝えていきます。送迎時のことなどについて、担任と打ち合わせを行っています。	保護者から伝えていただくこともあるので、事業所から積極的に情報共有していきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100		情報共有が必要な時には、利用時の事について知らせるようにしています。	小学校入学から利用した子どもについては、就学前の保育園や幼稚園と連携することは難しいところがあります。しかし、必要があれば、事業所の方から積極的に連携していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83	17	移行時の情報提供がスムーズにできるように、利用時の記録等を整理して保存しています。	現在までに移行支援に該当するケースがなかったため情報提供をする機会がありませんでした。しかし、今後のことを考えて、円滑に移行支援ができるようにシステムを検討します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100		研修会などに参加して、福祉に関する知識を得るようにしています。	今後も、職員の資質向上のために必要な研修会に積極的に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100		児童館に出かけるプログラムを行い、地域の子ども達と交流する機会がもてるようにしています。	いろいろな小学校から通所しているため、全部の地域での交流は難しいところがあります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33	67		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		送迎時等に子ども達のことを報告し、共通理解を図るようにしています。電話での報告もありますが、大切なことは、直接会って話をさせていただくようにしています。	今後も、保護者と共通理解をしていけるように、伝え合うことを大切にします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33	67	現在は、兄弟支援のみを行っています。	家族支援プログラムや保護者対象の研修会の機会は設定できていません。今後の課題として取り組んでいきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100		事業所の利用契約をする時に、丁寧に説明するようにしています。	今後も、丁寧な説明に心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100		保護者とのモニタリングを実施して、保護者の意向や子どもの思いが達成できるように支援計画を作成しています。	今後も、子どもや保護者の意向を尊重した支援計画が作成できるように、十分に話し合いの機会の場を設けます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100		保護者とのモニタリングを実施した後、「支援計画（案）」を作成します。それを見せながら保護者には説明して同意を得ています。	事業所が作成した「支援計画（案）」を基に、保護者と話し合いをし、訂正したり付け足したりして立案します。最終的にできあがったものを、保護者に確認して頂いて同意を得るようにします。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100		子育てについての悩み相談を受けた時は、電話だけでなく、事業所に来ていただいたり自宅に出向いたりしています。	できる限り直接会って、面談をするようにします。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	33	67	現在は、兄弟支援のみを行っています。	保護者のニーズが多様なため、保護者が交流する機会や保護者会の機会を設定するまでには至っていません。保護者のニーズをしっかりと把握して、今後実施できるように努力します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100		子どもや保護者から苦情があった時は、しっかりと聞き取りをした後で、職員全員で解決できるように話し合いをして、報告しています。	苦情の原因や要因をしっかりと把握して、同じようなことが起こらないように取り組みます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100		毎月、通信と行事予定を配布しています。	今後、HPの活用をしていきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100		個人情報については、事務所の鍵がかかるロッカーに保管しています。また、個人情報に関する書類は、事業所から持ち出さないようにしています。	今後も、個人情報の取り扱いについては、十分に注意します。事業所以外への書類の持ち出し、個人情報の外部への口外禁止を徹底します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		子ども達には、情報を文字や写真や絵カード等を使って提示しています。	子ども達には、一人一人に合った方法で意思が伝達できるように、情報を可視化していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100		ハロウィン等の行事において、地域との交流を図っています。	事業所の運営については、まだまだ不十分ところがあります。地域への発信ができるように努力します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100		それぞれのマニュアルを作成しています。事前に職員で研修した後、定期的に訓練を実施しています。また映像等を使って学習をしています。	保護者には、訓練の様子などを口頭やその日の活動記録で伝えるようにしています。また、通信でも取り組みなどについて知らせていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100		業務継続計画（BCP）は策定しています。非常災害の発生を想定した訓練を、毎年行っています。	訓練については、いろいろなケースが考えられるので、同じ訓練だけでなく、パターンを変えて取り組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100		契約時の面談などで、保護者に確認しています。	てんかん発作が起きた時の対応や、職員の役割分担を、定期的に確認しています。また、保護者にも定期的に確認するようにします。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100		契約時の面談などで、保護者に確認しています。また意思からの指示書がある場合は、そのことについても詳しく聞き取るようにしています。	食物アレルギーが起きた時の対応や、職員の役割分担を、定期的に確認しています。また、保護者にも定期的に確認するようにします。調理活動の時には、細心の注意をします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100		安全計画を作成しています。職員は安全管理について研修をしています。	安全管理が不十分だと思われた時は、もう一度見直しをして、安全に活動できるようにします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100		活動時や送迎時に気になることがあれば、保護者に報告します。家庭での様子も聞きながら、対応を検討します。	安全面で問題や課題がある場合は、保護者に連絡して連携しながら対応を一緒に考えていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100		ヒヤリハットが起こった時は、職員全体に報告し検討します。記録に残して同じことが起こらないようにします。	以前にヒヤリハットがあった活動や、安全面に気をつける必要のある活動の前には、必ず打ち合わせをして確認するようにします。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		虐待に当たる言葉や行為について研修を行い、子ども達への接し方や声かけについて、共通理解をしています。	職員の声かけ（言葉）や行動で気になることがあれば、職員同士で指摘し合うようにします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100		身体拘束についての研修を行い、身体拘束をしなければならない場面について話し合い、必要がある場合は保護者に確認して了解を得るようにします。	現在、対象の子どもはいませんが、どのような時にどのような対応をするかを想定し、身体拘束に値するか等を考えていきます。